

「土砂災害時の救助活動のあり方に関する検討会」の開催

参事官付

1 背景・目的

近年、東京都伊豆大島の土石流などの大規模な土砂災害が頻発しており、今後、気候変動の影響により、土砂災害等の危険性はますます高まると予測されています。大規模な土砂災害の救助活動においては、二次災害の危険性が高い中で、長時間にわたり広範囲に及ぶ活動が必要であり、また、その実施においては、救助機関、医療機関、土木担当部署等との緊密な連携が不可欠となります。このような救助活動の手法は現在のところ標準化されておらず、過去の活動の教訓等も体系的に整理されていません。

このため、実災害での経験を踏まえ、国内外の先進的な取組も参考としつつ、大規模な土砂災害での救助活動を安全かつ効率的に実施するための活動要領を検討することを目的として「土砂災害時の救助活動のあり方に関する検討会」を発足し、7月1日に第1回検討会を開催しました。

2 検討項目

検討会では、主に次の項目について検討を行います。

- ・関係機関との緊密な連携活動要領
- ・早期に救助活動を開始するための状況把握方法とその情報を活用した検索場所の選定要領
- ・二次災害を防止するための安全管理の手法
- ・効率的な救助活動要領
- ・資機材の効果的な活用方法

3 第1回検討会の内容

第1回検討会では、検討会の趣旨やスケジュール等について事務局から説明が行われた後、国土交通省から土砂災害の現状の説明、消防本部から事例報告等が行われるとともに、今後の検討方針等について審議が行われました。

4 検討会のスケジュール

- ・第1回 平成26年7月1日
- ・第2回 平成26年9月（予定）
- ・第3回 平成26年11月（予定）
- ・第4回 平成27年1月（予定）

本検討会の検討結果は、平成26年度中に「土砂災害時の救助活動のあり方に関する検討会報告書」として取りまとめる予定です。

土砂災害時の救助活動のあり方に関する検討会構成員（敬称略・五十音順）

【座長】

小林 恭一 東京理科大学大学院教授

【委員】

池谷 浩 政策研究大学院大学特任教授

大勝 道里 長岡市消防本部柘尾消防署長

大友 康裕 東京医科歯科大学大学院教授

岡本 敦 国土交通省砂防部砂防計画課地震・火山砂防室長

荻澤 滋 内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（災害緊急事態対処担当）

萱津 雅弘 東京消防庁警防部特殊災害課長

草場 秀幸 在日米海軍統合消防局佐世保署小隊長

黒川純一良 国土交通省水管理・国土保全局防災課災害対策室長

今野 隆嗣 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部警防課長

佐野 元康 日本消防協会業務部長

重川希志依 富士常葉大学大学院教授

周防 彦宗 由利本荘市消防団長

立石 信行 全国消防長会事業部事業企画課長

土屋 智 静岡大学教授

長井 義樹 国土技術政策総合研究所土砂災害研究部

深層崩壊対策研究官

長堀 弘 松戸市消防局警防課長代理

濱中 延元 田辺市消防本部消防本部理事

原田 忠義 防衛省運用企画局事態対処課国民保護・災害対策室長

村田 吉伸 静岡市消防局警防部警防課長

和田 薫 警察庁警備局警備課災害対策室長



問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付
小林補佐、鶴見係長、加藤事務官
TEL:03-5253-7507